

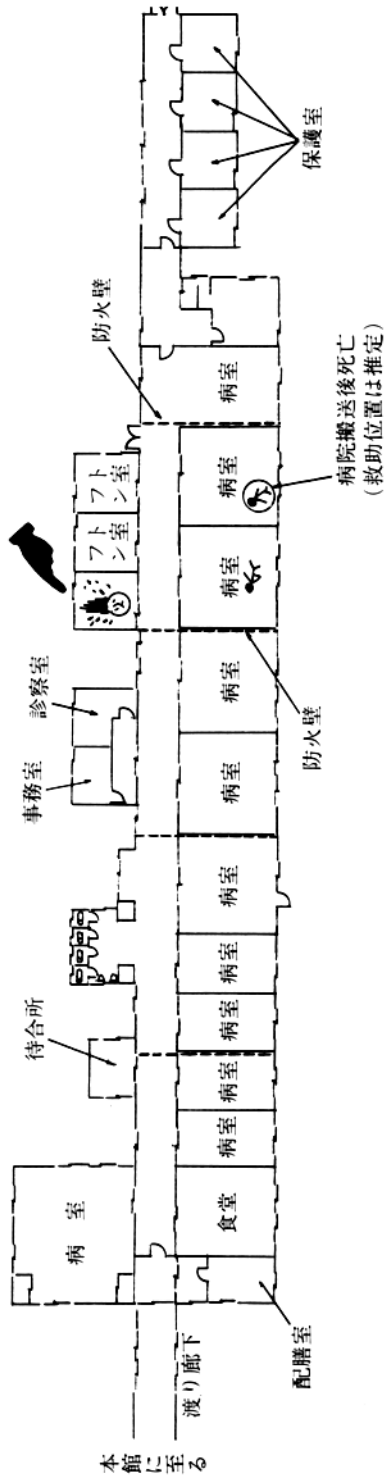
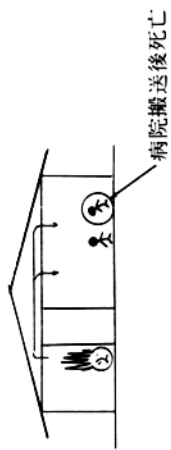
名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積 延面積)	死傷者
根岸国立病院 (精神病院)	病院  (6)イ	昭和36年5月5日	木造 1/6	全・④・部・小	死者 2名
		出火18時43分ころ 覚知18時47分 覚知別 鎮火 時 分	建 553m <sup>2</sup> 延 553m <sup>2</sup>	254m <sup>2</sup> (46%)	傷者 0名 ( )
東京都府中市 本宿5451					

I 火災概要							
① 概 要	この火災は、精神病院患者の放火により出火し、木造平家553m <sup>2</sup> のうち254m <sup>2</sup> を焼失し、病院側の患者は握が不十分だったため2名の焼死者を出した火災である。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m <sup>2</sup>	焼損床面積 m <sup>2</sup>	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等 消防用設備等
					(患者内訳)		非常口 3箇所  ③ 1箇所  ④ 1箇所
	①	553	254	男子第1病棟	73(71)	2	
	合計	553	254		73	2	
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・(非居室), 在・(不在)) 1階男子第1病棟の物品保管室(ふとん部屋)内梱包用ゴザから出火したもので、多量の可燃物が積載されており、夕方5時頃から患者に、ふとんを敷かせるため部屋を開放していた。					④ 出 火 原 因	放 火 精神病患者が、うつぶんばらしに病院をおどかさうとして、ふとん部屋に忍びこみマッチで梱包用ゴザに火をつけたもの。

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 1階ふとん部屋 内の梱包用ゴザ</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) 板張りの内壁及 び天井に延焼</div> <div style="text-align: center;">(他室への拡大) 小屋裏を通して廊下及び 各病室に延焼拡大</div> </div>	
	<p>ふとん部屋から出火した火災は、内壁（板張り）を立上り、軟質繊維板の天井が燃え抜け、小屋裏に燃え移り廊下、寝室に延焼拡大していった。</p> <p>なお、小屋裏に防火壁が設けられていたため、病棟全部に火が走らず、病室4室のみで延焼を阻止することができた。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由 老朽木造建物であったため、火の廻りが早かった。</li> <li>○ 煙の伝播経路 出火とともに発生した濃煙は、小屋裏を伝播して廊下、病室へと充満していった。</li> </ul>		
<b>II 火災建物概要</b>		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (竣工)昭和17年 月 日 ( )昭和 年 月 日	
管 理 状 況	<b>② 縦 穴 の 状 況</b>	<b>③ 防 火 管 理 状 況</b>
	階 段 <input type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> ----- 特記なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院側から与えるタバコに対する喫煙管理は、一応厳重にしていたようであるが、面会の際に家族等からマッチ、タバコ等を与えられて隠し持つ者もあり、それらのチェックが不十分であった。(食堂以外の室からも吸ガラが発見されている。)</li> <li>○出入口、非常口の鍵が3種類あり、解錠に手間どった。</li> <li>○訓練状況は不明。</li> </ul>
管 理 状 況	<b>④ 防 火 区 画 等</b>	<b>⑤ 消 防 用 設 備 等</b>
	小屋裏は防火壁により区画されており施工が完全であった。	屋内消火栓1ヶ所、四塩化炭素消火器1本のみ設けられていた。

III 火災後の行動						
① 発見状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発見者 (隣棟第二病棟の看護婦)</li> <li>○ 発見の動機 (第一病棟屋根から出ている煙を発見)</li> <li>○ 発見後の行動 (連絡ベルにより第一病棟へ知らせる)</li> </ul> <p>-----</p> <p>第一病棟の看護婦は、第二病棟との連絡ベルにより第一病棟の屋根から煙が出ていることを知らされ、中庭の非常口を開き外に出てみると、屋根から煙が出ているのを発見した。急いで非常口を施錠し、病棟内に入ったが、火点が不明のため、患者達に「火事らしいから見つけてくれ」とどなりながら本館へ連絡に走った。</p>					
② 通報状況	<p>通報 した <input checked="" type="checkbox"/> (不明) 発見後約( )分</p> <p>          しない <input type="checkbox"/></p> <p>-----</p> <p>18時47分に消防へ通報されているが詳細は不明である。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 30%;">           成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/>            ○ 消火時期 <input checked="" type="checkbox"/>            ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: top;">           (理由又は状況)            看護婦の連絡を受けた本館の職員は、火点の近くの屋内消火栓を使用して消火に当り、消えたかに見えたが、火はすでに天井裏に延焼しており、初期消火に失敗した。         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td>           ○ 消火時期 <input type="checkbox"/>            ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>            ○ その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 看護婦の連絡を受けた本館の職員は、火点の近くの屋内消火栓を使用して消火に当り、消えたかに見えたが、火はすでに天井裏に延焼しており、初期消火に失敗した。	消火しない	○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 看護婦の連絡を受けた本館の職員は、火点の近くの屋内消火栓を使用して消火に当り、消えたかに見えたが、火はすでに天井裏に延焼しており、初期消火に失敗した。				
消火しない	○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神患者病棟の特有の開口部(出入口等)の閉鎖による消防隊の進入・救助に対して困難性があった。</li> <li>○ 消防隊到着時の建物関係者との避難情報伝達にスムーズさが無かった。</li> </ul>					

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項																
⑤ 避 難 状 況	○階段を利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○エレベーター, エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○窓, 開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人) ○救 助 <input type="checkbox"/> ( 人) ○その他( ) <input type="checkbox"/> ( 人)	○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input checked="" type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input checked="" type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (患者の異常行動)																
	看護婦は本館に火災発生を連絡後, 他の応援職員とともに出入口及び中庭の非常口を開放し避難誘導に当たったが, 非常口等の錠が3種類もあったため開錠にてまどったことと, 患者で誘導に従わない者等がおり困難であった。																	
⑥ 死 者 の 状 況	<table border="0"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> <td rowspan="6">}</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>2名</td> <td></td> </tr> </table>	健康人	名	}	(泥酔者)	名	要保護者	2名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	2名		避難上支障となった事項 ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input checked="" type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input checked="" type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (患者の異常行動)
健康人	名	}																
(泥酔者)	名																	
要保護者	2名																	
乳幼児	名																	
高齢者	名																	
身体不自由者	名																	
病人	2名																	
	死亡患者のうち1名は, 平素よりベッド下にもぐり込む癖があったため, 火災の際ももぐっていた模様であり, これを知らなかった応援の職員は, これに気付かず避難させることができなかった。 他の1名の患者も逃げおくれ, 衣類に着火し火傷を負い入院後死亡したものである。																	
<b>IV 問題点・教訓等</b>																		
1. 老朽木造建物であったが, 小屋裏の防火壁による区画が完全に施工されていたため, 区画内の病室が焼失しただけで阻止することができた。 2. 夜間における病棟看護人が少ないため通報・消火等に支障をきたした。 3. 異常行動に出る患者もおり, 又, 他棟からの応援職員では患者の行動管理を十分には握できず, 避難誘導に困難をきたした (6名の脱走者があった) 4. 患者の性質上, 窓, 非常口等は全て施錠され又金網等でおおっていたため, 避難誘導に困難をきたした。																		



※建物の配置状況は不明である。